

【公表用】

臨時総会議事録

公益社団法人国民健康保険中央会

1 開催日時

令和7年11月4日（火）午後3時30分～午後4時00分

2 開催場所

Web会議により開催

3 総会の議事の経過の要領及びその結果

- (1) 出席者の音声と映像が同時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできることを確認した。
- (2) 定款第33条の規定により、南英治福井県国民健康保険団体連合会理事長が議長に選出された。
- (3) 議長が事務局に出席状況の報告を求め、事務局からは、代理出席及び委任状の提出を含め、会員である47都道府県国保連合会の全員が出席しており、定款第35条第1項に規定する定足数を満たしていることが報告された。
- (4) 定款第37条第2項の規定において、議事録には2人以上の議事録署名人の署名押印が求められることから、舛甚悟青森県国民健康保険団体連合会常務理事、柿本敏晶長崎県国民健康保険団体連合会

【公表用】

常務理事が、議事録署名人に選任された。

(5) 会長から挨拶があった。

○ 本日は、大変ご多用の中、ご出席を賜り感謝を申し上げる。

また、国保中央会の事業運営については、平素から格別のご支援、ご協力をいただき、御礼申し上げる。

○ 現在、国保連合会・国保中央会は、審査支払システムの共同開発・共同利用の検討、介護情報基盤の構築や母子保健事務のデジタル化といった医療・介護DXの推進、保健事業など保険者機能の発揮への支援など、重要かつ困難な課題に取り組んでいる状況である。

○ 国保連合会・国保中央会は重要な役割を果たしているところであるが、今般、厚生労働省においては、自治体の事務負担軽減に向か、国保連合会の役割強化を検討する会議が設置され、協議が開始された。

○ 次回の会議では、国保連合会からのヒアリングを実施するなど、議論を深めていくこととなっており、今後、国保連合会の存在がより一層重要なものとなっていくと考えている。

○ 引き続き、皆様とともにこの難局を乗り越え、国保連合会・国保中央会の発展に努めていくので、皆様のご理解、ご支援を賜りますよう、何とぞよろしくお願ひ申し上げる。

○ 本日は、4つの議案について審議を予定している。

○ 1点目は、令和8年度以降の本会の人員体制と、連合会にご負担

【公表用】

いただく負担金についてである。

- 来年度以降の人員体制・負担金については、今後のシステム開発・運用業務等の増加に伴う職員定数の増員や、昨今の物価上昇や人件費の高騰等による、一部の負担金の引き上げをお願いするものである。
- これらの内容について、本年7月以降、ブロック単位での会議を開催するなどして、国保連合会と十分に協議を行い、とりまとめた。本日、本総会のご承認をいただくよう、よろしくお願い申し上げる。
- 2点目は、令和7年度国民健康保険中央会第二次収支補正予算についてである。
- 本年度予算については、本年6月に行った第一次補正に引き続き、今般、母子保健事務のデジタル化や予防接種システム関係業務において、国から依頼のあった事項について対応する必要が生じたため、必要な補正予算を組むものである。
- 3点目、4点目は、国保総合システムの負担金に関する規程の一部改正についてである。
- 本件については、国保総合システムの更改にかかる経費としてご負担いただいていた「国保総合システム開発負担金」について、システム更改に要した経費と、国保連合会から納付いただいた負担金額に差額が生じ剰余が発生したことから、その剰余について、国保総合システムの保守運用経費としてご負担いただいている「国保総

【公表用】

合システム運用負担金」と相殺することにより精算するため、関係する規程を一部改正するものである。

- この精算方法については、本年6月に開催した総合調整会議において、ご承認いただいている。
- 最後に、本日の総会に付議する議案については、いずれも先に開催された臨時理事会においてご審議を賜り、本総会に付議することについてご了承をいただいている。
- 限られた時間ではあるが、ご審議を賜り、何とぞご承認をいただくようお願い申し上げる。

(6) 議案及びその審議状況は次のとおりであった。

① 議案

- ・議案第1号 令和8年度以降の人員体制及び負担金について
- ・議案第2号 令和7年度国民健康保険中央会第二次収支補正予算について
- ・議案第3号 国民健康保険中央会国保総合システム開発負担金規程の一部改正について
- ・議案第4号 国民健康保険中央会国保総合システムに係る業務の実施に関する規程の一部改正について

② 審議状況

- ・議案第1号： 事務局から提案説明があり、質疑を行ったところ

【公表用】

ろ、特に質疑がなく、全会一致で原案どおり可決された。

・議案第2号： 事務局から提案説明があり、質疑を行ったところ、特に質疑がなく、全会一致で原案どおり可決された。

・議案第3号及び同第4号：

事務局から提案説明があり、質疑を行ったところ、特に質疑がなく、全会一致で原案どおり可決された。

4 出席者の氏名

(1) 会員

別紙のとおり

(2) 理事

大西 秀人（会長）

原 勝則（理事長）

池田 俊明（常務理事）

齋藤 俊哉（常勤理事）

稻垣 仁（常勤理事）

山本 邦彦（北海道国民健康保険団体連合会）

高橋 勝重（岩手県国民健康保険団体連合会）

【公表用】

森田 達也（茨城県国民健康保険団体連合会）
小高 康幸（千葉県国民健康保険団体連合会）
小島 徹（山梨県国民健康保険団体連合会）
西垣 功朗（岐阜県国民健康保険団体連合会）
横山 達伸（和歌山県国民健康保険団体連合会）
土草 洋樹（香川県国民健康保険団体連合会）
徳永 吉之（福岡県国民健康保険団体連合会）

（3）監事

黒澤 正明（常勤監事）
野倉 加奈美（兵庫県国民健康保険団体連合会）

5 議長の氏名

南 英治（福井県国民健康保険団体連合会理事長）

6 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

檜山 隆宏（国民健康保険中央会事務局長）

【公表用】

(別紙)

都道府県名	役 職	氏 名	都道府県名	役 職	氏 名
北海道	理事長	山本 邦彦	滋賀	副理事長(兼) 常務理事	望月 敬之
青森	常務理事	舛 甚 悟	京都	副理事長(兼) 常務理事	三宅 英知
岩手	専務理事	高橋 勝重	大阪	専務理事	田中 喜男
宮城	常務理事	新妻 直樹	兵庫	専務理事	野倉 加奈美
秋田	事務局長	菅原 雪子	奈良	事務局次長(兼) 電算介護課長	村岡 規好
山形	常務理事	雨谷 充	和歌山	常務理事	横山 達伸
福島	事務局長	百田 結賀	鳥取	常務理事	盛田 聖一
茨城	常務理事	森田 達也	島根	常務理事	仁科 慎治郎
栃木	常務理事	大橋 哲也	岡山	常務理事	小川 雅史
群馬	常務理事	堀越 正勝	広島	事務局長	岡 謙二
埼玉	常務理事	唐橋 竜一	山口	常務理事	藤田 昭弘
千葉	常務理事	小高 康幸	徳島	常務理事	宮内 正彦
東京	常務理事	水田 博	香川	常務理事	土草 洋樹
神奈川	常務理事	池田 雅男	愛媛	事務局長	大政 幸司
新潟	常務理事	須貝 幸子	高知	常務理事	渡辺 純正
富山	事務局長	川口 昇	福岡	常務理事	徳永 吉之
石川	常務理事	大畠 秀信	佐賀	常務理事	井上 洋
福井	理事長	南 英治	長崎	常務理事	柿本 敏晶
山梨	常務理事	小島 徹	熊本	常務理事	渡辺 克淑
長野	常務理事	濱村 圭一	大分	常務理事	後藤 豊
岐阜	常務理事	西垣 功朗	宮崎	常務理事	佐野 詔藏
静岡	常務理事	前島 稔生	鹿児島	常務理事	塩田 兼一郎
愛知	専務理事	小澤 尚司	沖縄	常務理事	高良 昌英
三重	常務理事	加藤 和浩			

(敬称略)

【公表用】

この議事録が正確であることを証するため、署名押印する。

議長　南英治

議事録署名人　舛甚悟

議事録署名人　柿本敏晶